

北上市公共施設最適化計画策定市民アンケート結果報告

○調査方法

- ・住民基本台帳からの無作為抽出による対象者へ郵送による配布・回収での質問紙調査

○調査実施

2018年1月23日～2018年2月13日

○回答率

- ・配布数1995件 回答者数 753件 回収率 37.7%

○基本属性

- ・基本属性は下記のとおり。全体では、60歳以上の割合が回答者の44%を超え、比較的高齢の方の回答率が高い状況であった。
- ・地域属性を見ると、黒沢尻、江釣子等の人口が多い地区の回答者数が多くなっている。

※本報告書の取り扱いについて

- ・本調査の解析においては、未回答（未記入）は欠損値として処理をした。各回答の回答者数（母数）はそれぞれの表・グラフ・別表に記載。
- ・本調査報告書の百分率（%）は四捨五入しているために100%にならない場合がある

表 性別・年齢割合

年代	男性		女性		合計(2)	
	n	%	n	%	n	%
18・19歳	7	0.9%	5	0.7%	12	1.6%
20歳代	32	4.3%	32	4.3%	64	8.5%
30歳代	33	4.4%	48	6.4%	81	10.8%
40歳代	51	6.8%	73	9.7%	124	16.6%
50歳代	59	7.9%	75	10.0%	134	17.9%
60歳代	76	10.1%	94	12.6%	170	22.7%
70歳以上	65	8.7%	99	13.2%	164	21.9%
合計(1)	323	43.1%	426	56.9%	749	100.0%

※合計(1)の割合は男女比を示す。

※合計(2)の割合は年代比を示す。

※その他の割合は、全数からの比を示している。

表 地区別 性別・年代構成

エリア	地区名	30代以下男性		30代以下女性		40～50代男性		40～50代女性		60代以上男性		60代以上女性		合計	
		n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	※地区別割合
黒沢尻	黒沢尻北	6	7.1%	12	14.1%	15	17.6%	19	22.4%	13	15.3%	20	23.5%	85	11.7%
	黒沢尻東	9	9.7%	11	11.8%	16	17.2%	18	19.4%	20	21.5%	19	20.4%	93	12.8%
	黒沢尻西	12	17.1%	9	12.9%	11	15.7%	15	21.4%	6	8.6%	17	24.3%	70	9.6%
東陵	黒岩	1	8.3%	1	8.3%	1	8.3%	1	8.3%	3	25.0%	5	41.7%	12	1.6%
	口内	0	0.0%	0	0.0%	3	25.0%	2	16.7%	3	25.0%	4	33.3%	12	1.6%
	立花	2	8.0%	2	8.0%	3	12.0%	1	4.0%	4	16.0%	13	52.0%	25	3.4%
	稲瀬	3	16.7%	2	11.1%	1	5.6%	3	16.7%	0	0.0%	9	50.0%	18	2.5%
北部	更木	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	25.0%	8	40.0%	6	30.0%	20	2.7%
	二子	2	6.5%	4	12.9%	0	0.0%	6	19.4%	8	25.8%	11	35.5%	31	4.3%
	飯豊	4	6.5%	10	16.1%	11	17.7%	14	22.6%	9	14.5%	14	22.6%	62	8.5%
南部	相去	4	10.8%	6	16.2%	7	18.9%	7	18.9%	4	10.8%	9	24.3%	37	5.1%
	鬼柳	5	7.5%	7	10.4%	13	19.4%	17	25.4%	12	17.9%	13	19.4%	67	9.2%
江釣子	江釣子	10	11.0%	12	13.2%	16	17.6%	15	16.5%	19	20.9%	19	20.9%	91	12.5%
和賀町	和賀	6	11.1%	4	7.4%	4	7.4%	11	20.4%	14	25.9%	15	27.8%	54	7.4%
	藤根	3	10.3%	3	10.3%	4	13.8%	5	17.2%	5	17.2%	9	31.0%	29	4.0%
	岩崎	1	4.5%	0	0.0%	2	9.1%	6	27.3%	10	45.5%	3	13.6%	22	3.0%
合計		69	9.5%	83	11.4%	107	14.7%	145	19.9%	138	19.0%	186	25.5%	728	

B まちづくりへの意識①

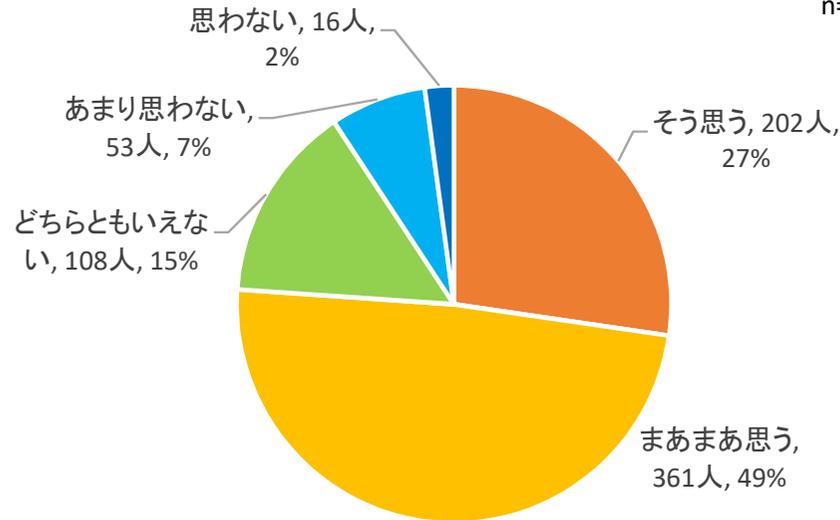
北上市の住みやすさ、まちづくりへの意識、実際のまちづくり活動への参加を質問した。

○キーメッセージ：

- ・北上市を住みやすいと回答者の約3 / 4が評価している。
- ・北上市のまちづくりに関心があると約2 / 3が回答。
- ・地域活動やボランティア活動に約半数が参加している。
- ・北上市の公共サービスが充実していると評価しているのは1 / 3のみ。
- ・回答者の9割弱が北上に住み続けたいと思っている。

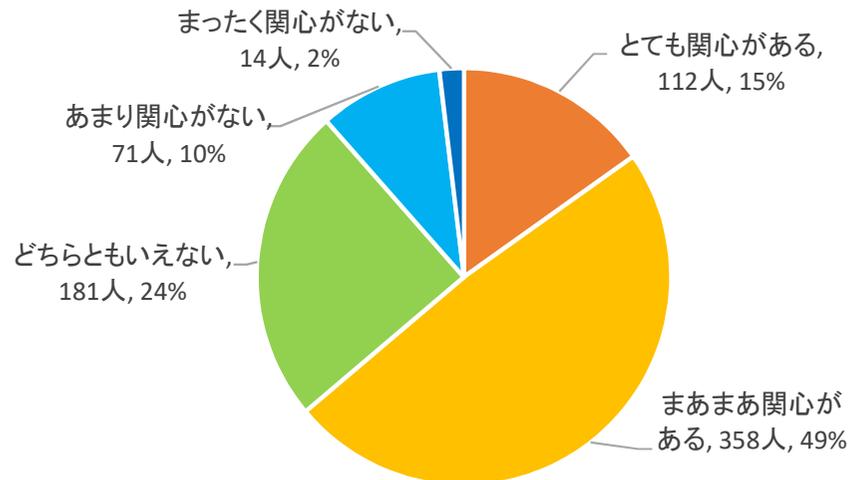
B1 北上市が住みやすいまちだと思いますか

n=740



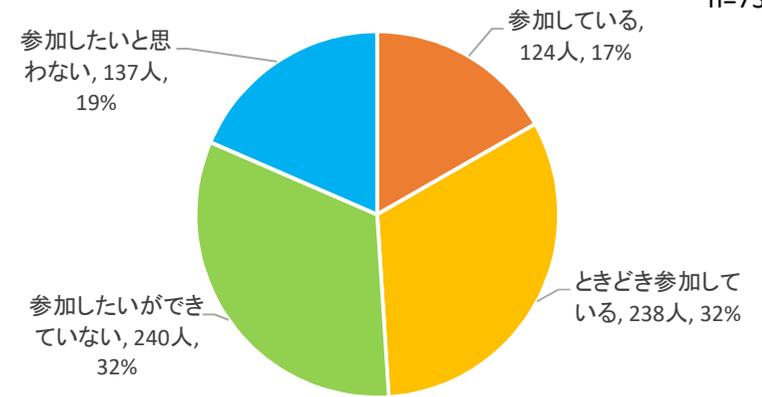
B2 あなたは北上市のまちづくりに関心がありますか

n=736



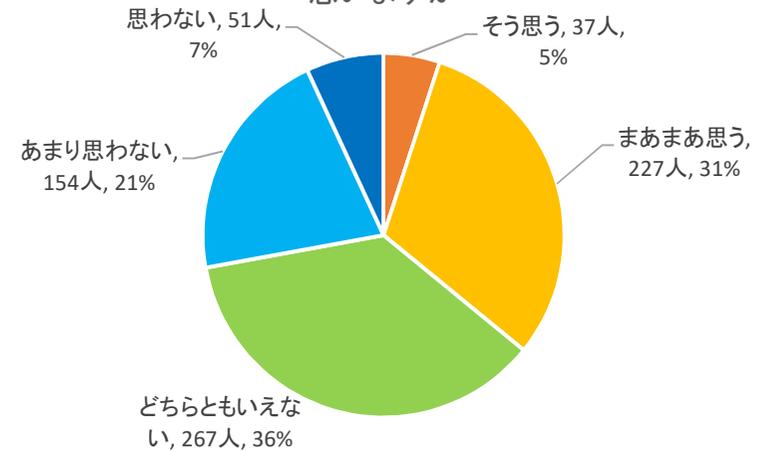
B3 地域活動やボランティア活動に参加していますか

n=739



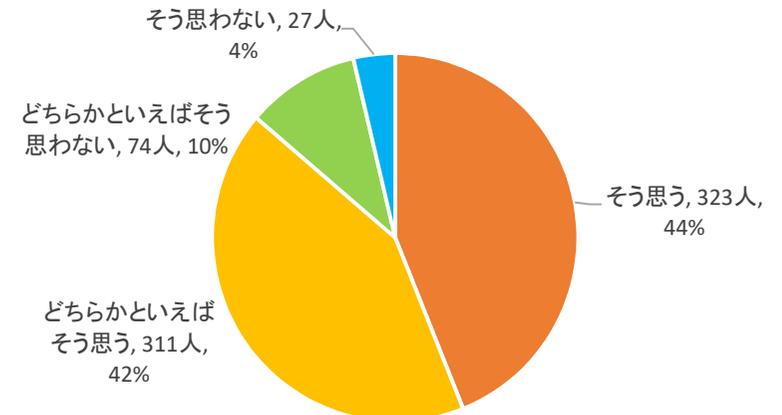
B4 北上市は公共サービスが充実していると思いますか

n=736



B5 北上市に住み続けたいと思いますか

n=735



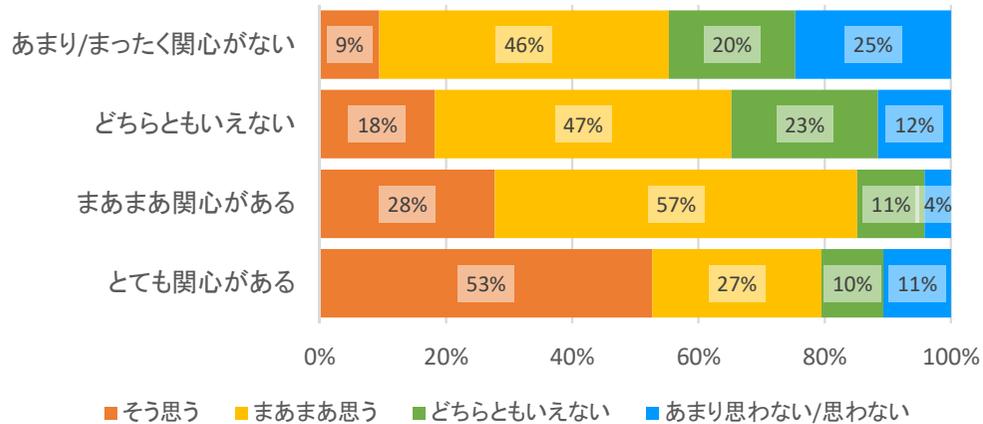
B まちづくりへの意識②

B 2のまちづくりの意識を4分類し、それぞれの回答別に住みよさやまちづくりへの参加、居住意向などの傾向を整理した。

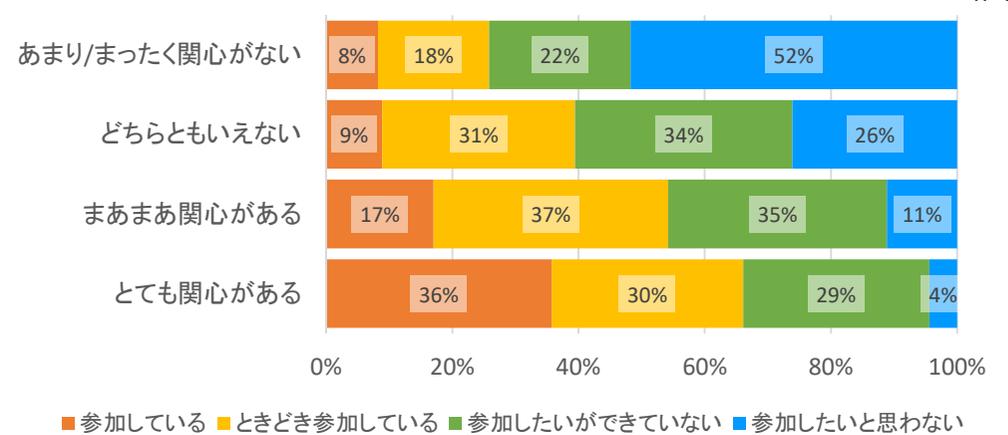
○キーマッセージ：

- ・ B 1の北上市が住みよいまちであるかの評価において、まちづくりに関心があるほど、北上市が住みよいまちだと認識している割合が高い。
- ・ 同様にB 3のまちづくりへの参加も、まちづくりに関心が高いほうが、地域活動やボランティア活動などのまちづくりへ参加している。
- ・ 同様にB 5の居住意向においても、まちづくりへ関心が高いほど、北上市に住み続けたいと思う割合が高い。
- ・ 公共サービスの充実への評価においては、まちづくりへの関心が高いほど、公共サービスが充実していると評価している。
- ・ 上記の結果から、まちづくりへの関心、まちづくりへの参加と、まちの住みよさ、公共サービス充実の評価、さらに北上市への居住意向が正の相関があることが考えられ、**まちを知ること、参加することとまちそのものへの評価、将来の居住意向は関連があることが考えられる。**

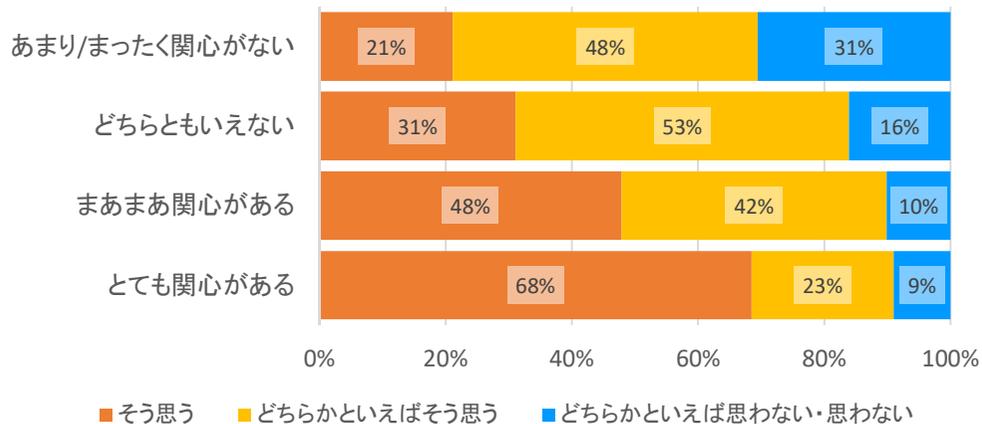
B2まちづくりへの関心別 B1住みよいまちかの評価 n=735



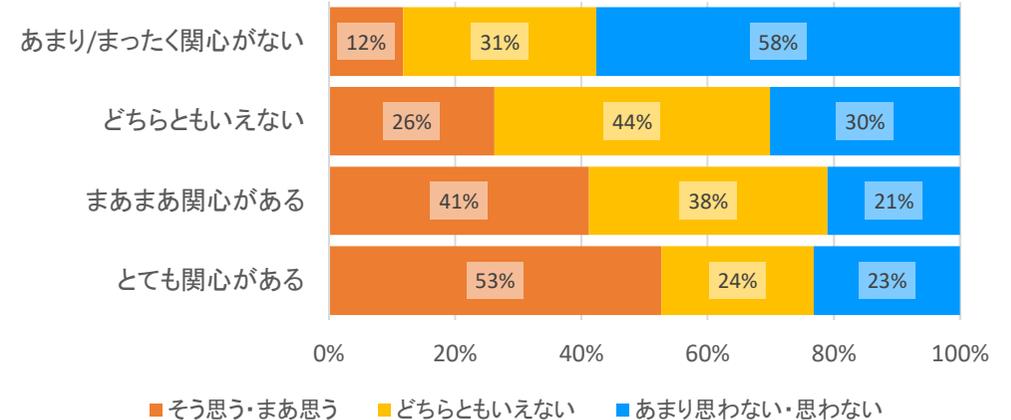
B2まちづくりへの関心別 B3まちづくりへの参加状況 n=735



B2まちづくりへの関心別 B5北上市への居住意向 n=731



B2まちづくりへの関心別 B4公共サービス充実評価 n=733



B まちづくりへの意識③

まちづくりへの意識を年代別に整理した。また、B4の公共サービスの評価を3分類し、それぞれの回答別に住みよさの評価、居住意の傾向を整理した。

○キーメッセージ：

- ・年代が高まるほど、「北上市が住みよいまちだと思う」割合が高く、「まちづくりへの関心」も高く、「公共サービスが充実している」と評価し、「北上市に住み続けたい」と考える割合が高い。
- ・B4の公共サービスが充実しているかどうかと、B5の北上市への居住意向においては、公共サービスへの評価が高いほど、住み続けたいと回答する割合が高い。また、B1の住みよいまちかも同様の傾向を示している。
- ・しかし、公共サービスが充実していると思わない層においても、約2/3は、「北上市に住み続けたいと思う・どちらかといえばそう思う」と回答している。

年代別 B1 北上市の住みやすさの評価

	30代以下		40代		50代		60代		70代	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
そう思う	30	19.6%	25	20.2%	28	20.9%	56	33.3%	63	39.1%
まあまあ思う	79	51.6%	62	50.0%	82	61.2%	80	47.6%	58	36.0%
どちらともいえない	25	16.3%	25	20.2%	15	11.2%	18	10.7%	25	15.5%
あまり思わない/思わない	19	12.4%	12	9.7%	9	6.7%	14	8.3%	15	9.3%
合計	153		124		134		168		161	

年代別 B2 まちづくりへの関心

	30代以下		40代		50代		60代		70代	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
とても関心がある	12	7.8%	18	14.5%	15	11.3%	27	16.1%	40	25.3%
まあまあ関心がある	71	46.4%	68	54.8%	64	48.1%	89	53.0%	66	41.8%
どちらともいえない	43	28.1%	24	19.4%	38	28.6%	39	23.2%	37	23.4%
あまり/まったく関心がない	27	17.6%	14	11.3%	16	12.0%	13	7.7%	15	9.5%
合計	153		124		133		168		158	

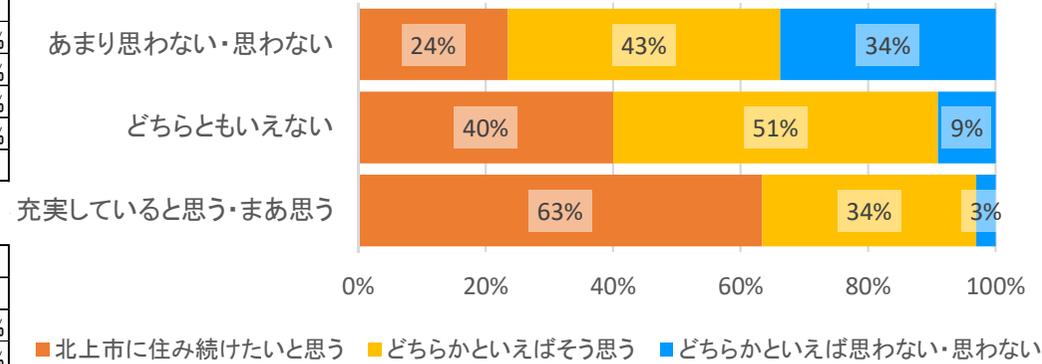
年代別 B4 公共サービスが充実しているかどうかへの評価

	30代以下		40代		50代		60代		70代	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
そう思う・まあ思う	54	35.3%	33	26.6%	34	25.4%	72	43.4%	71	44.7%
どちらともいえない	43	28.1%	47	37.9%	60	44.8%	58	34.9%	59	37.1%
あまり思わない・思わない	56	36.6%	44	35.5%	40	29.9%	36	21.7%	29	18.2%
合計	153		124		134		166		159	

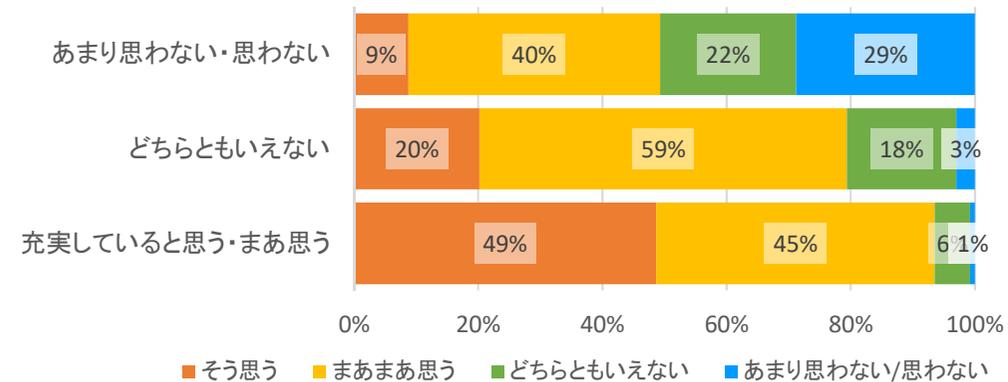
年代別 B5 北上市への居住継続意向

	30代以下		40代		50代		60代		70代	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
そう思う	45	29.4%	38	30.6%	47	35.3%	93	56.0%	100	62.9%
どちらかといえばそう思う	71	46.4%	64	51.6%	70	52.6%	60	36.1%	46	28.9%
どちらかといえば思わない・思わない	37	24.2%	22	17.7%	16	12.0%	13	7.8%	13	8.2%
合計	153		124		133		166		159	

B4公共サービス評価別 B5北上市への居住意向 n=731



B4公共サービス評価別 B1住みよいまちかの評価 n=735



C 公共施設への意識・負担の考え方

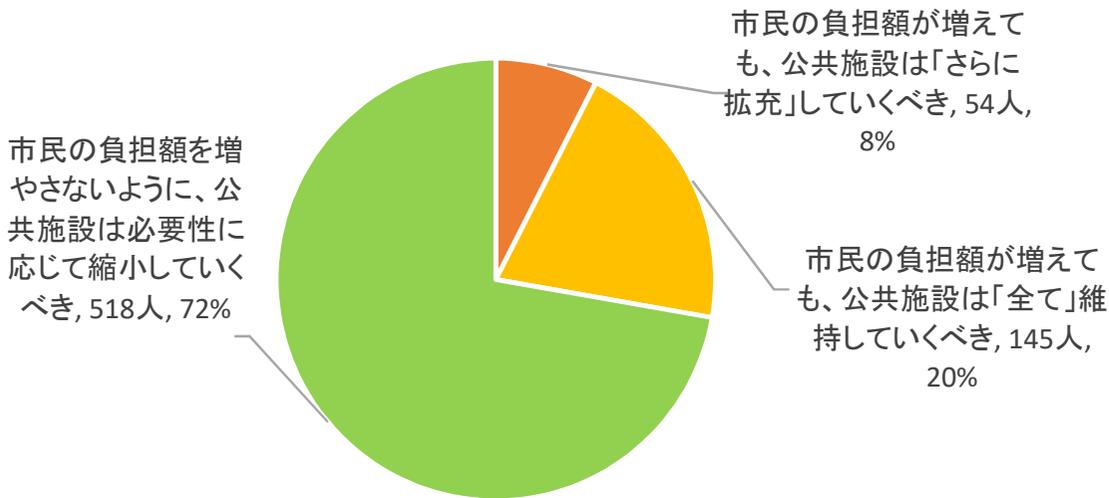
本アンケートでは、アンケート票のほか、北上市の公共施設を考える上で必要な「人口動態」や「維持・更新にかかる費用負担」といった情報を同封し、回答者には、その内容を確認したあと、アンケートに回答していただくよう依頼をしている。その前提をもとに、公共施設の老朽化問題への認知および、将来の公共施設の負担について質問を行った。

○キーメッセージ：

- ・公共施設の老朽化問題の内容を理解しているのは8%。おおよそ知っている人も含めれば4割以上となっている。
- ・公共施設への負担に関しては、回答者の28%が「負担増」があっても、拡充・維持が必要であると考えている。一方、**72%が「負担額を増やさず」に必要なに応じて縮小すること必要であると考えている。**
- ・公共施設老朽化の認識別に、負担の考え方を整理すると、公共施設の老朽化問題への意識が高い人のほうが、負担を減らす割合が少なく、負担増への意識を持っている人が高い。

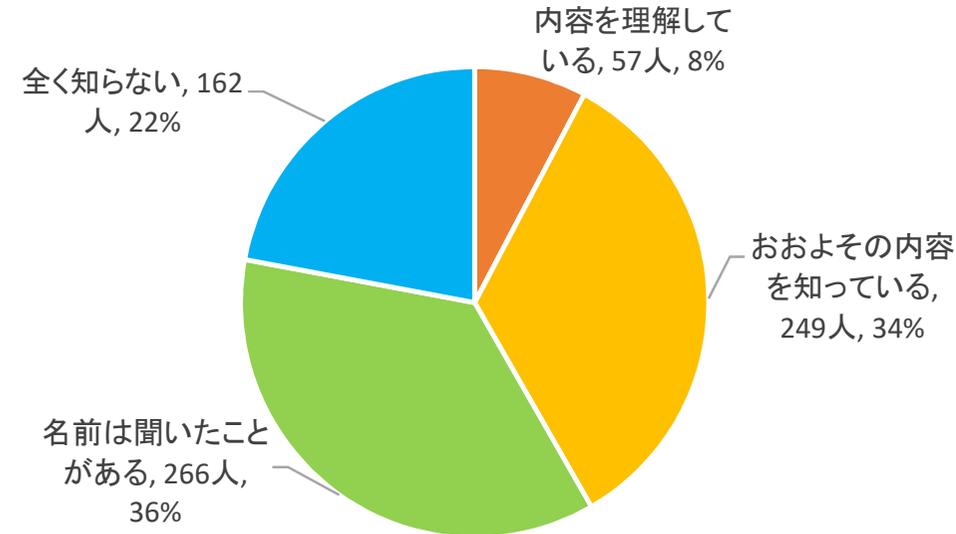
C2 あなたは公共施設と市民の負担に関して、どのような考えをお持ちですか

n=717



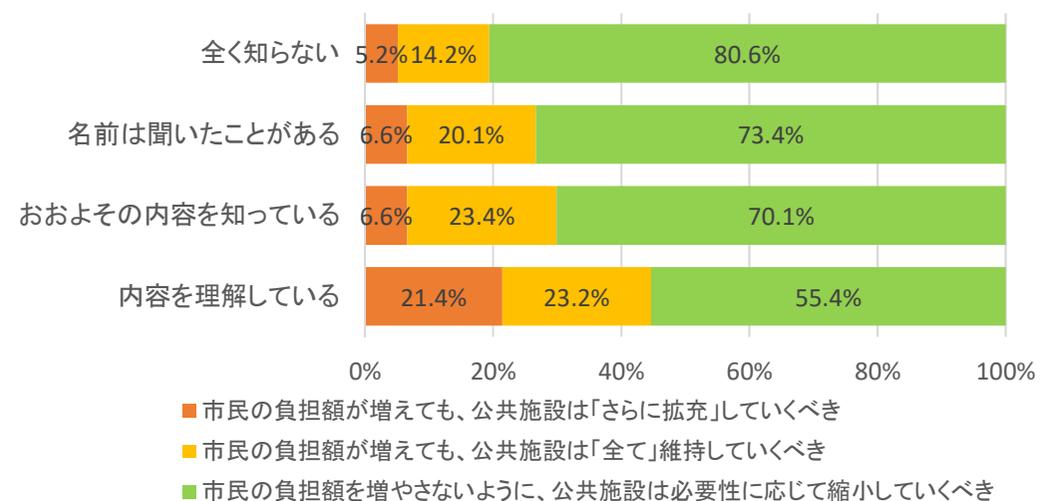
C1 公共施設の老朽化問題についてご存じですか？

n=734



C1 公共施設問題の認知とC2負担の考え方

n=714



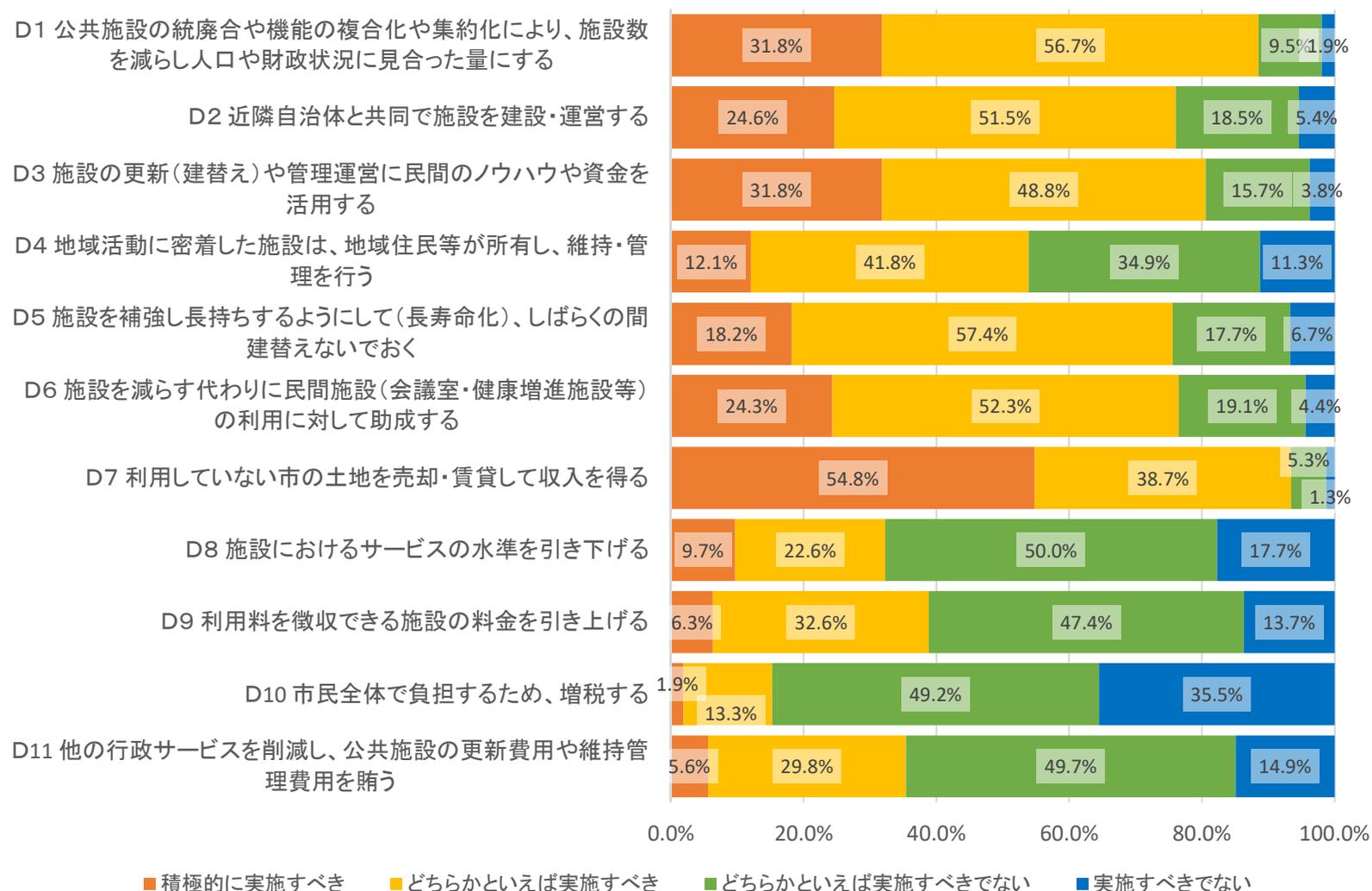
D 公共施設を維持するための手段①

社会情勢が変化中、公共サービスを継続するための方法として、これまで北上市および他市が行ってきた事例をもとに11に抽出し、それぞれの推進に対する質問を行った。

○キーメッセージ：

- ・公共施設機能を維持・継続するための手段において、「積極的に実施すべき」の割合が最も高いのは「利用していない市の土地の売却・賃貸」。続いて「公共施設の統廃合や機能の複合化」「施設更新・管理運営に民間の力を活用」「近隣自治体と共同での運営」「民間施設の利用への助成」となっており、**市の保有する資産を減らす、運営コストを減らすものの割合が高くなっている。**
- ・「実施すべきでない」の回答が高いものは「増税」「サービス水準の引き下げ」「他の行政サービスの削減」「利用料金の引き上げ」となっており、**負担増や公共サービスの質の低下が生じるものは、実施すべきでないとの回答が多い。**

公共施設を継続するための手段



D 公共施設を維持するための手段②

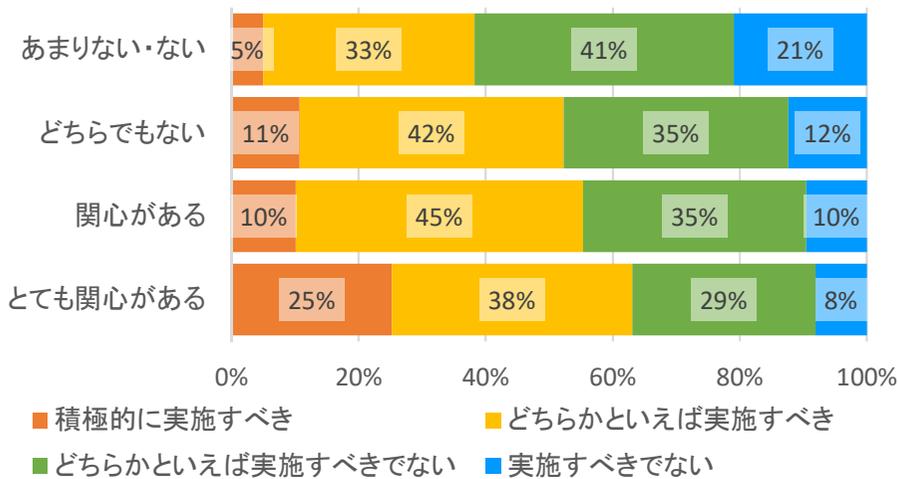
公共施設を維持するための手段と、B2まちづくりへの関心、B4の公共サービスが充実しているかどうかの評価別の回答傾向を整理した。

○キーメッセージ：

- ・ B2のまちづくりとの関心別に整理すると、D4の地域住民による管理においては、まちづくりへ関心が高いほど、実施すべきと解答している割合が高い。また、D10の市民全体で負担することについては、まちづくりへの関心が高いほど、実施すべきでないという回答の割合が低くなっている。
- ・ B4の公共サービスの充実評価との関連では、「施設の統廃合・複合化」は公共サービスの充実の評価に関わらず積極的に実施すべきと回答している割合が高い。一方、D10の市民全体で負担することについては、公共サービスへの評価が否定的な層で「実施すべきでない」と回答している割合が高くなっている。

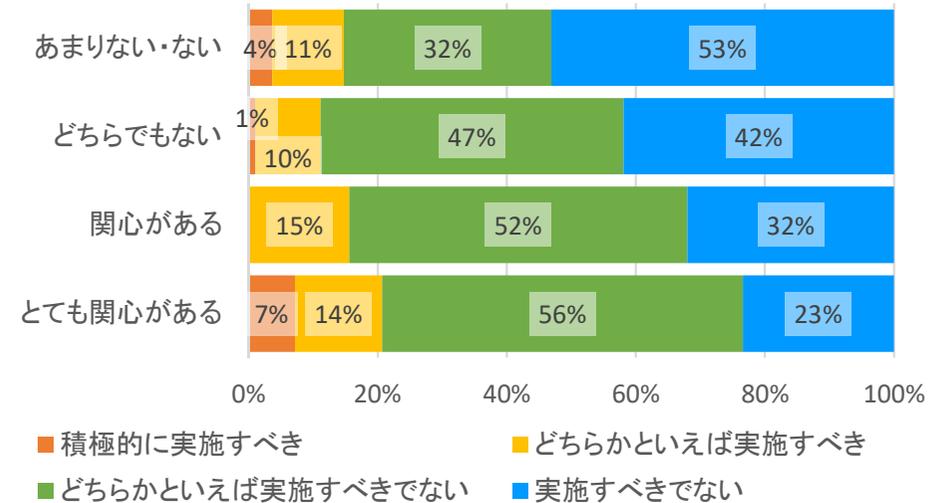
B2まちづくりへの関心別 D4地域住民による管理

n=717



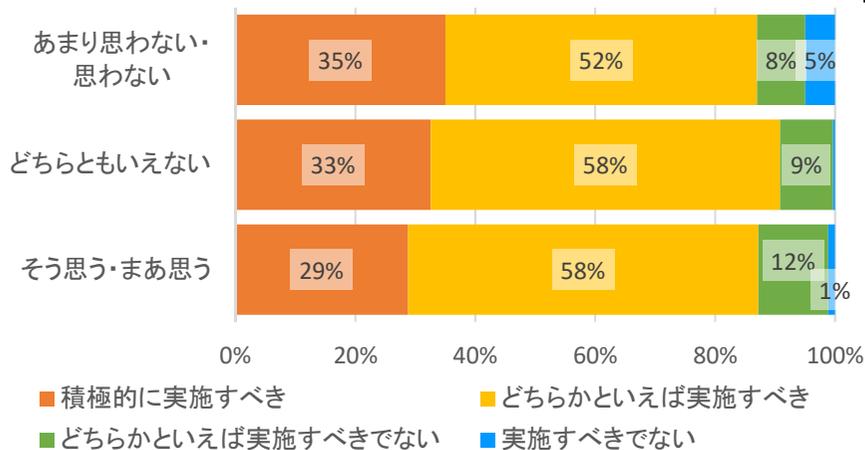
B2まちづくりへの関心別 D10市民全体で負担

n=724



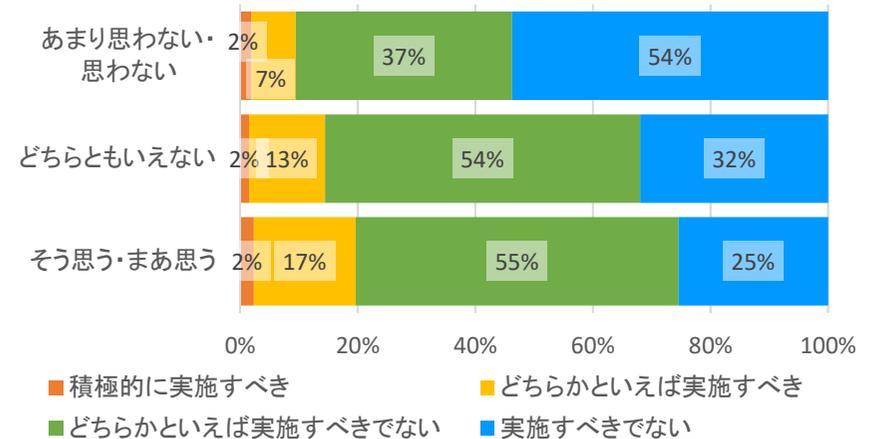
B4公共サービス充実評価別 D1施設統廃合複合化

n=718



B4公共サービス充実評価別 D10市民全体で負担

n=723



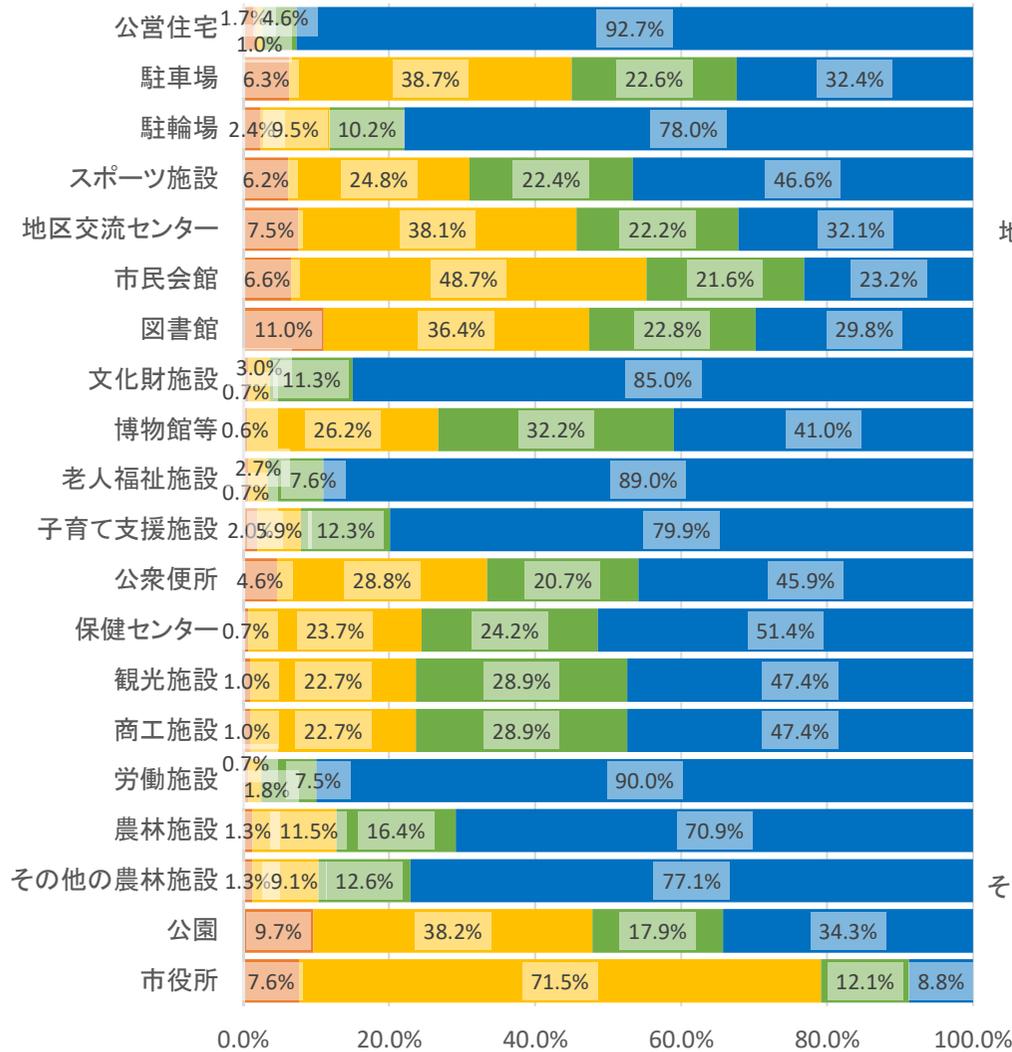
E 公共施設別利用頻度

公共施設の分類別に利用頻度を質問した。また、「ほとんど利用しない」「利用したことがない」と回答した場合には、その施設を利用しない理由をたずねた。

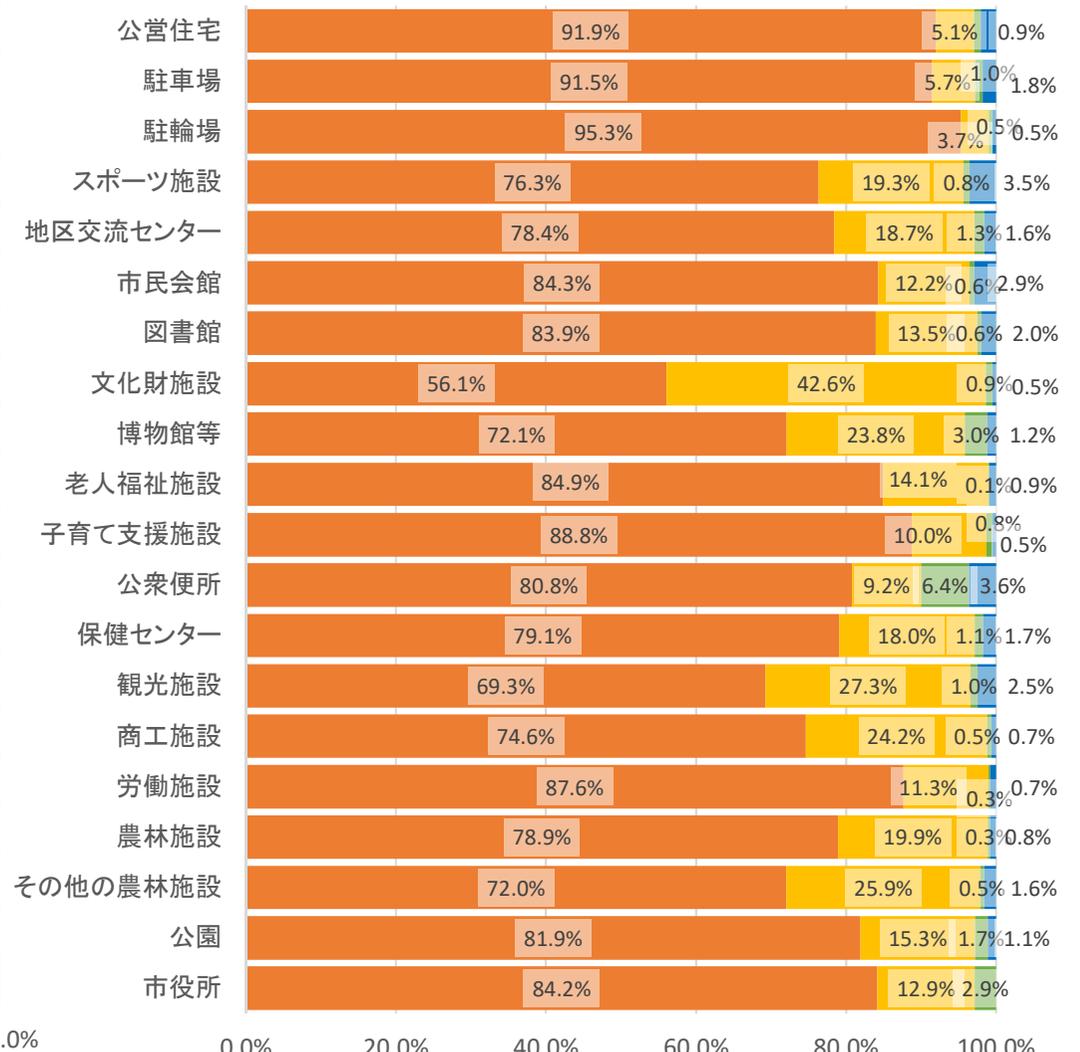
○キーメッセージ：

- ・月数回以上利用する割合が最も高いのは「図書館」。その後、「公園」「地区交流センター」「市役所」「市民会館（さくらホール）」
- ・年数回程度利用する割合が最も高いのは「市役所」。その後、「さくらホール」「駐車場」「公園」「地区交流センター」「図書館」
- ・利用しない理由においては、ほとんどが利用する必要がないと回答。
- ・文化財施設、博物館、観光・商工・農林施設は、「施設やサービスの内容を知らない」と解答している割合が高い。

E 公共施設別利用頻度



公共施設を利用しない理由



■ 月数回以上利用する
 ■ 年数回程度利用する
 ■ ほとんど利用しない
 ■ 利用したことがない
 ■ 利用する必要がない
 ■ 施設やサービス内容を知らない
 ■ 施設・サービスに不満
 ■ 他市町施設・民間施設を利用

F 公共施設における「機能」ニーズ①

回答者に「最適化」は、公共施設全体の総量を抑えるとともに、人口減少や高齢化が進む中でも、多様化するニーズに応じた魅力あるまちづくりを持続させることを目的としていることを伝えたくて、行政で優先して維持すべき機能について質問した。

公共サービスの機能を17に分類し、自分の生活圏（概ね16地区の交流センターの区域）、近隣区域（概ね中学校区程度）、北上市域（市内で1～2施設程度）ごとに3つずつ優先して維持すべき機能についてたずねた。

○キーメッセージ：

- ・生活圏域で最も高いのが、「コミュニティ・地域づくり」。その後、「高齢福祉・介護」「健康づくり」「子育て支援」「市役所」。コミュニティ、健康に関する機能が生活圏で割合が高い。
- ・近隣圏域では「中学教育」「小学教育」「保育・幼児教育」「子育て支援」「高齢福祉」。教育に関する機能の割合が高くなっている。
- ・市域では、「産業支援」「市役所」「観光集客」「高齢福祉」「子育て支援」。産業に関する項目が高くなっている。
- ・「図書館」、「文化・芸術」、「スポーツ」「障がい福祉」「公営住宅」は圏域が広がるほど、機能へのニーズが高くなっている。反対に「公園」「地域づくり」「健康づくり」は圏域が狭くなるほどにニーズが高くなっている。

機能	生活圏		近隣圏		市域	
	n	%	n	%	n	%
①市役所	153	21.5%	28	4.1%	238	34.3%
②コミュニティ・地域づくり	318	44.7%	143	20.7%	85	12.2%
③健康づくり（介護予防を含む）	264	37.1%	100	14.5%	83	12.0%
④高齢福祉・介護	308	43.3%	146	21.1%	182	26.2%
⑤障がい福祉	75	10.5%	84	12.2%	106	15.3%
⑥子育て支援	208	29.2%	186	26.9%	168	24.2%
⑦観光・集客	50	7.0%	43	6.2%	213	30.7%
⑧産業支援（商業・工業・農業）	57	8.0%	56	8.1%	239	34.4%
⑨公営住宅	27	3.8%	35	5.1%	53	7.6%
⑩公園	127	17.8%	105	15.2%	70	10.1%
⑪保育・幼児教育（保育園・幼稚園）	142	19.9%	198	28.7%	77	11.1%
⑫小学教育（小学校）	121	17.0%	222	32.1%	44	6.3%
⑬中学教育（中学校）	35	4.9%	298	43.1%	39	5.6%
⑭生涯学習	62	8.7%	101	14.6%	66	9.5%
⑮図書館	37	5.2%	93	13.5%	120	17.3%
⑯文化・芸術	44	6.2%	75	10.9%	116	16.7%
⑰スポーツ	58	8.1%	116	16.8%	129	18.6%

F 公共施設における「機能」ニーズ②

公共サービスの機能を17に分類し、生活圏域（16地区）、近隣圏（概ね中学校区）、市域（市で1つ）ごとに3つずつ優先して維持すべき機能について質問し、未就学児、小学生、中学生・高校生、要介護の高齢者がそれぞれいる世帯における機能の傾向を整理した。

※未就学児、小学生、中高生、要介護それぞれ「同居している」と回答した世帯のみの結果となっている。

○キーメッセージ：

- ・未就学児を持つ世帯では、生活圏域で子育て支援や保育、小学教育といった機能のニーズが高い。
 - ・小学生以下の子どもがいる世帯では生活圏で「公園」、近隣圏で「図書館」のニーズが他と比較し、高い。
 - ・小学生がいる世帯では、近隣圏で「スポーツ」を選択している割合が高い。
 - ・「子育て支援」や「小学教育」に関しては、未就学児・小学生を持つ世帯で生活圏でニーズが高くなっている。しかし、中高生がいる世帯では、生活圏ではなく、近隣圏における優先度が高くなっている。また、「保育・幼児教育」は未就学児のいる世帯でのみ高い傾向にある。
 - ・介護が必要な高齢者がいる世帯では、生活圏でコミュニティ、高齢福祉、健康づくりへのニーズが高い。
- ⇒同居する家族のライフステージによって、生活圏で必要なニーズは大きく異なり、多様な視点への配慮が必要となる。

	未就学児			小学生			中高生			要介護		
	生活圏	近隣圏	市域									
①市役所	17.4%	3.5%	26.7%	13.9%	2.0%	40.8%	15.9%	0.9%	42.7%	24.7%	6.1%	41.5%
②コミュニティ・地域づくり	30.2%	15.3%	12.8%	42.6%	19.4%	7.1%	48.7%	18.3%	8.2%	57.6%	24.4%	18.3%
③健康づくり（介護予防を含む）	19.8%	9.4%	9.3%	28.7%	10.2%	11.2%	33.6%	11.0%	10.9%	42.4%	9.8%	11.0%
④高齢福祉・介護	26.7%	11.8%	24.4%	30.7%	11.2%	23.5%	46.0%	19.3%	25.5%	51.8%	17.1%	39.0%
⑤障がい福祉	4.7%	7.1%	17.4%	5.0%	6.1%	11.2%	8.0%	10.1%	13.6%	18.8%	15.9%	18.3%
⑥子育て支援	53.5%	31.8%	43.0%	37.6%	20.4%	23.5%	25.7%	30.3%	17.3%	18.8%	25.6%	19.5%
⑦観光・集客	5.8%	7.1%	32.6%	3.0%	6.1%	25.5%	5.3%	6.4%	27.3%	3.5%	11.0%	31.7%
⑧産業支援（商業・工業・農業）	8.1%	5.9%	23.3%	8.9%	11.2%	30.6%	9.7%	8.3%	35.5%	10.6%	8.5%	37.8%
⑨公営住宅	0.0%	3.5%	4.7%	3.0%	4.1%	2.0%	1.8%	6.4%	8.2%	3.5%	8.5%	9.8%
⑩公園	24.4%	24.7%	15.1%	24.8%	11.2%	11.2%	12.4%	12.8%	6.4%	3.5%	13.4%	9.8%
⑪保育・幼児教育	44.2%	43.5%	18.6%	17.8%	31.6%	9.2%	16.8%	33.0%	8.2%	12.9%	26.8%	11.0%
⑫小学教育（小学校）	36.0%	44.7%	9.3%	36.6%	40.8%	13.3%	23.9%	33.9%	6.4%	10.6%	24.4%	1.2%
⑬中学教育（中学校）	5.8%	48.2%	8.1%	9.9%	59.2%	8.2%	13.3%	57.8%	5.5%	2.4%	35.4%	2.4%
⑭生涯学習	4.7%	5.9%	7.0%	7.9%	11.2%	12.2%	6.2%	11.0%	10.0%	9.4%	15.9%	6.1%
⑮図書館	4.7%	21.2%	19.8%	7.9%	21.4%	22.4%	5.3%	13.8%	21.8%	3.5%	18.3%	11.0%
⑯文化・芸術	1.2%	5.9%	7.0%	4.0%	7.1%	16.3%	6.2%	8.3%	17.3%	3.5%	14.6%	12.2%
⑰スポーツ	4.7%	8.2%	16.3%	8.9%	22.4%	27.6%	14.2%	15.6%	28.2%	9.4%	14.6%	11.0%

F 公共施設における「機能」ニーズ③

公共施設のニーズを、6つのエリア別、および性別・年代別に整理した。

○キーメッセージ：

- ・エリア別だと、「市役所」機能が近隣にあるエリアは、「生活圏」でのニーズが高くなっている
- ・「公園」は、ニュータウン、都市部があるエリアでニーズが高い。
- ・性別・年代別で比較すると、年代があがるほど、また男性のほうが生活圏で「コミュニティ」へのニーズが高い。また、「健康」は年代があがるほど、また女性の方がニーズが高くなっている。
- ・「子育て支援」や「教育機能」等に関しては、年代が低いほうが生活圏でのニーズが高くなっている。

	黒沢尻			東陵			北部			南部			江釣子			和賀町		
	生活圏	近隣圏	市域															
①市役所	25.4%	3.4%	36.2%	18.5%	0.0%	35.5%	12.5%	0.0%	36.3%	18.2%	2.1%	40.6%	28.4%	6.8%	27.3%	20.6%	11.8%	26.1%
②コミュニティ・地域づくり	41.3%	17.5%	11.1%	49.2%	16.4%	9.7%	45.2%	21.8%	10.8%	51.5%	26.0%	8.3%	37.5%	22.7%	11.4%	50.5%	20.4%	17.4%
③健康づくり（介護予防を含む）	37.1%	17.1%	13.2%	36.9%	11.5%	6.5%	45.2%	12.9%	14.7%	40.4%	16.7%	7.3%	23.9%	11.4%	11.4%	39.2%	12.9%	14.1%
④高齢福祉・介護	45.0%	20.5%	23.4%	50.8%	16.4%	29.0%	41.3%	23.8%	29.4%	38.4%	20.8%	28.1%	37.5%	14.8%	23.9%	44.3%	29.0%	28.3%
⑤障がい福祉	11.7%	16.7%	15.3%	12.3%	6.6%	16.1%	12.5%	10.9%	15.7%	4.0%	13.5%	10.4%	11.4%	8.0%	21.6%	11.3%	10.8%	15.2%
⑥子育て支援	31.7%	23.9%	27.2%	23.1%	29.5%	21.0%	31.7%	26.7%	26.5%	26.3%	31.3%	24.0%	30.7%	25.0%	23.9%	24.7%	29.0%	19.6%
⑦観光・集客	5.4%	5.1%	28.5%	10.8%	9.8%	29.0%	6.7%	4.0%	33.3%	5.1%	7.3%	35.4%	5.7%	6.8%	34.1%	12.4%	8.6%	27.2%
⑧産業支援（商業・工業・農業）	6.3%	6.0%	31.9%	9.2%	6.6%	35.5%	7.7%	9.9%	28.4%	6.1%	8.3%	38.5%	9.1%	12.5%	36.4%	12.4%	8.6%	43.5%
⑨公営住宅	3.8%	5.1%	6.8%	3.1%	4.9%	6.5%	3.8%	4.0%	9.8%	2.0%	8.3%	7.3%	4.5%	3.4%	10.2%	5.2%	3.2%	5.4%
⑩公園	22.5%	19.7%	10.2%	9.2%	13.1%	12.9%	19.2%	10.9%	7.8%	18.2%	17.7%	10.4%	19.3%	15.9%	11.4%	9.3%	6.5%	10.9%
⑪保育・幼児教育	20.4%	26.9%	12.3%	15.4%	26.2%	8.1%	21.2%	33.7%	12.7%	20.2%	26.0%	10.4%	21.6%	33.0%	15.9%	16.5%	28.0%	5.4%
⑫小学教育（小学校）	16.7%	30.3%	7.2%	23.1%	39.3%	4.8%	14.4%	33.7%	5.9%	16.2%	32.3%	5.2%	17.0%	33.0%	4.5%	18.6%	30.1%	8.7%
⑬中学教育（中学校）	1.7%	44.0%	5.5%	3.1%	50.8%	3.2%	8.7%	49.5%	5.9%	5.1%	42.7%	3.1%	8.0%	34.1%	8.0%	7.2%	41.9%	6.5%
⑭生涯学習	7.9%	16.7%	8.1%	3.1%	19.7%	16.1%	9.6%	13.9%	9.8%	17.2%	11.5%	5.2%	9.1%	11.4%	12.5%	6.2%	15.1%	9.8%
⑮図書館	6.7%	18.8%	19.6%	1.5%	6.6%	21.0%	1.9%	8.9%	17.6%	5.1%	6.3%	17.7%	9.1%	17.0%	11.4%	5.2%	14.0%	15.2%
⑯文化・芸術	5.8%	10.3%	17.4%	6.2%	13.1%	14.5%	6.7%	11.9%	10.8%	6.1%	8.3%	19.8%	5.7%	12.5%	14.8%	7.2%	11.8%	20.7%
⑰スポーツ	5.8%	12.4%	17.4%	9.2%	13.1%	14.5%	5.8%	17.8%	19.6%	14.1%	18.8%	20.8%	12.5%	26.1%	17.0%	5.2%	15.1%	21.7%

	30代以下男性			30代以下女性			40～50代男性			40～50代女性			60代以上男性			60代以上女性		
	生活圏	近隣圏	市域	生活圏	近隣圏	市域	生活圏	近隣圏	市域	生活圏	近隣圏	市域	生活圏	近隣圏	市域	生活圏	近隣圏	市域
①市役所	23.6%	4.2%	30.6%	22.9%	2.4%	33.3%	20.6%	3.8%	40.4%	16.9%	6.2%	42.9%	20.8%	1.6%	28.5%	25.0%	4.9%	29.3%
②コミュニティ・地域づくり	36.1%	28.2%	12.5%	31.3%	19.3%	11.9%	46.7%	19.0%	14.4%	41.2%	23.3%	6.1%	53.1%	15.6%	16.3%	50.0%	20.7%	13.4%
③健康づくり（介護予防を含む）	19.4%	12.7%	13.9%	20.5%	13.3%	7.1%	29.0%	13.3%	9.6%	34.5%	14.4%	10.2%	36.9%	20.5%	17.9%	59.9%	12.2%	12.2%
④高齢福祉・介護	23.6%	12.7%	27.8%	32.5%	20.5%	28.6%	46.7%	22.9%	19.2%	44.6%	17.1%	32.0%	44.6%	26.2%	26.0%	52.3%	23.8%	23.8%
⑤障がい福祉	5.6%	7.0%	11.1%	9.6%	20.5%	15.5%	10.3%	11.4%	17.3%	6.8%	11.6%	12.9%	13.8%	12.3%	13.8%	14.0%	11.0%	18.9%
⑥子育て支援	43.1%	23.9%	30.6%	51.8%	30.1%	38.1%	25.2%	26.7%	19.2%	30.4%	25.3%	21.8%	20.8%	24.6%	25.2%	20.3%	29.9%	18.9%
⑦観光・集客	11.1%	15.5%	31.9%	9.6%	12.0%	36.9%	6.5%	1.0%	27.9%	6.1%	4.8%	36.1%	9.2%	5.7%	24.4%	3.5%	4.3%	28.7%
⑧産業支援（商業・工業・農業）	11.1%	12.7%	29.2%	8.4%	10.8%	25.0%	6.5%	3.8%	31.7%	7.4%	5.5%	42.9%	10.8%	11.5%	35.0%	5.8%	7.3%	35.4%
⑨公営住宅	5.6%	5.6%	5.6%	0.0%	8.4%	7.1%	4.7%	3.8%	8.7%	4.1%	6.8%	7.5%	1.5%	4.9%	5.7%	5.8%	2.4%	9.8%
⑩公園	18.1%	21.1%	11.1%	24.1%	10.8%	8.3%	24.3%	21.0%	15.4%	19.6%	15.8%	5.4%	14.6%	12.3%	11.4%	11.6%	12.8%	10.4%
⑪保育・幼児教育	37.5%	28.2%	13.9%	36.1%	32.5%	25.0%	17.8%	27.6%	8.7%	21.6%	24.0%	6.1%	15.4%	29.5%	8.9%	8.1%	31.1%	10.4%
⑫小学教育（小学校）	20.8%	28.2%	9.7%	21.7%	34.9%	8.3%	21.5%	35.2%	6.7%	22.3%	34.9%	6.1%	13.8%	27.9%	3.3%	8.1%	31.1%	6.1%
⑬中学教育（中学校）	5.6%	38.0%	5.6%	3.6%	43.4%	9.5%	9.3%	50.5%	5.8%	8.8%	52.7%	4.8%	3.8%	36.9%	4.1%	0.0%	36.6%	5.5%
⑭生涯学習	2.8%	14.1%	2.8%	3.6%	8.4%	6.0%	4.7%	11.4%	9.6%	8.8%	17.1%	5.4%	13.1%	18.0%	14.6%	12.8%	15.2%	14.0%
⑮図書館	6.9%	18.3%	19.4%	8.4%	15.7%	21.4%	3.7%	15.2%	16.3%	8.1%	11.6%	15.6%	2.3%	13.1%	10.6%	3.5%	11.0%	21.3%
⑯文化・芸術	6.9%	9.9%	12.5%	4.8%	3.6%	9.5%	6.5%	12.4%	18.3%	6.1%	10.3%	15.0%	7.7%	12.3%	23.6%	5.2%	13.4%	17.7%
⑰スポーツ	18.1%	15.5%	23.6%	9.6%	13.3%	7.1%	11.2%	19.0%	26.0%	6.1%	14.4%	21.1%	6.9%	20.5%	21.1%	4.1%	17.1%	13.4%